

● 各地域募集内容詳細

地域：南西アジア（インド・その他周辺国）

内容：①常設展－カタログを用いたバイヤーへの商品紹介
インドへのサンプル輸入テスト

募集終了

◆基本情報

〔期間〕①サンプル・カタログ紹介：2025年11月～2026年2月頃

②現地試食イベント、展示会への参加：次ページ参照

〔参加バイヤー〕南西アジア地域における食品輸入事業者、
卸売企業、飲食業関係者、業界団体等

◆スケジュール

7月中旬 出品者確定

8月 JETROへのサンプル提供（出品者負担）、インド食品安全基準局（FSSAI）を通じたインドへの輸入可否判断に向けた成分テスト実施

10月以降 国内倉庫へのサンプル搬入（出品者負担）

カタログ内容確定

インド向けラベル貼り付け、インドへの輸送（ジェトロ負担）

11月以降 サンプルインド到着、通関対応

11月以降 サンプル・カタログをバイヤーへ紹介

11月以降 南西アジア地域（インド（ムンバイ）、バングラデシュ等）で

別途企画展（試食イベント）を実施予定。詳細については次ページ参照。



◆対象商品

加工食品全般（調味料、水産物、業務用加工食品、インスタント・半調理済食品、菓子、ベジタリアン対応食品）

※インドでは日本食材の小売需要はまだ小さく、業務用（レストラン、ホテル）の食材を優先して選定する。

※賞味期限8カ月以上の商品（1年以上が望ましい）。

※サンプル展示は常温での保存が可能な商品。50度以上の気温下の輸送でも腐らないもの。

※アルコールを含む食材、冷蔵・冷凍品についてはサンプル輸送対象外となるが、制度上輸入可能なものについてはカタログ展示の選定対象とする。

◆対象要件

・企業として海外輸出実績を有し、英語表示対応ははじめインドの輸入規制（[参考リンク](#)）に対応できること。

※食肉関連（牛、豚、鶏等）については日印間のルール上輸入不可のため対象外。

◆有望商品

・飲食店向けの業務用食品

・ベジタリアン、ビーガン、ハラール対応できる食品（乳成分はベジ、卵や動物・魚介由来成分はノンベジ）

・健康志向に対応できる食品（免疫向上、低糖質、減塩等。サプリメント等は不可。）

・特徴や味付けがはっきりした食品。

◆特徴

①インド向け輸入に係る分析検査および輸入テストの実施

インドの日本食材輸入業者の協力のもと、インド食品安全基準局（FSSAI）の輸入品に対する分析検査を実施し、貴社の商品をインドに輸入するための事前テストや必要書類等の準備をお手伝いします。

②現地食品コーディネーターによるバイヤー対応、出品企業への情報提供

現地食品コーディネーターがバイヤーに貴社商品の紹介を行います。バイヤーの商品評価を出品者にフィードバックする他、バイヤーのリクエストに応じて商談のアレンジを行います。

③カタログを通じた商品PR

国土の広いインドにおいて遠方のバイヤーにアプローチするため、カタログを作成。関心を示したバイヤーに情報提供・サンプル提供を行うことで、商談参加を呼びかけます。

④南西アジア複数国・地域でのイベント開催（企画展）

現在インド国内（主にムンバイを想定）および周辺国の現地レストランや食品展示会を活用したイベントの実施に向けて調整中です。

◆募集企業数

①サンプル展示※常温品のみ：20社程度

②カタログ展示：60社程度（①の出品者+40社程度）

*別途企画展に合わせた現地集合型商談・市場視察ミッションを実施予定：①②参加者のうち10社以下を想定

◆提案商品数

STEP2でご登録いただいた商品のうち、最大1商品まで

◆留意点

・サンプル展示の可否はお申込み状況や成分テスト結果等も踏まえ、募集締切後もしくは成分テスト結果通知時に個別にご案内します（不可の場合カタログのみの展示）。商品輸送（各社5kg以内想定）については出品者確定後に輸送業者より案内しますので、輸送業者が指定する国内指定倉庫まで商品を輸送願います。

・現地情勢次第では実施を見合わせる場合があります。

● 各地域募集内容詳細

地域：南西アジア（インド・その他周辺国）

内容：②企画展- 南西アジア複数国・地域でのイベント

募集終了

※2025年5月時点での情報です。今後内容に変更がある可能性がありますので、予めご了承ください。

◆企画展概要

企画展では、南西アジア常設展採択商品を対象に、インド国内（主にムンバイを想定）および周辺国にて商品プロモーションを行う予定です。現地レストランや食品展示会を活用しながらイベントを企画・実施することで、商品の魅力や特徴を現地バイヤー・レストラン関係者にアピールします。

◆インド企画展

現地レストランのシェフに、サンプル商品を用いたメニューを開発いただき、試食提供を依頼します。インドの輸入業者は価格重視の商品選定をする傾向にありますが、現地シェフと協力しインド人が食べやすいメニュー開発やその試食イベントを実施することで、新しい日本食材の魅力を伝え、インドへの輸入のきっかけとすることを狙いとしています。試食提供に合わせた現地集合型商談・市場調査ミッションも検討しております。

[場所]

インド国内都市（主にムンバイを想定）

[時期]

2025年11～2026年1月頃を予定

[対象商品]

南西アジア常設展採択商品の一部

[有望商品]

- ・飲食店向けの業務用食品
- ・ベジタリアン、ビーガン、ハラール対応できる食品（乳成分はベジ、卵や動物・魚介由来成分はノンベジ）
- ・健康志向に対応できる食品（免疫向上、低糖質、減塩等。サプリメント等は不可。）
- ・特徴や味付けがはっきりした食品。

[参加方法]

詳細が決まり次第随時ご案内をいたします。



◆ダッカ企画展

バングラデシュ・ダッカにて、南西アジア常設展採択商品の一部につき、出張展示・プロモーションを行う予定です。ダッカでは、輸入業者、現地レストラン、バングラデシュ政府関係者等を対象とした、日本食市場の拡大を目指した機会を提供します。現地レストランや在バングラデシュ日本大使館との連携を検討しております。

[場所]

バングラデシュ・ダッカ

[時期]

2025年11月～2026年2月頃を予定

[対象商品]

南西アジア常設展採択商品の一部

[有望商品]

- ・フュージョン料理や現地ローカル食品への汎用性が高く、様々な食べ方提案ができる食品
- ・ハラール対応できる食品
- ・飲食店向けの業務用食品
- ・特徴や味付けがはっきりした食品

[参加方法]

詳細が決まり次第随時ご案内をいたします。



上記の他にも、インド国内および周辺国の現地レストランや食品展示会を活用したイベントにて、商品プロモーションの実施を検討しております。詳細が決まりましたら、別途ご案内をいたします。